事前研修(6/11) 第3回事前研修
神戸市立人と防災みらいセンター・神戸市内フィールドワーク

神戸市立人と防災みらいセンターを訪問し、見学・体験および、市内のフィールドワークを行いました。人とみらい防災センターは、1999年に発生した阪神・淡路大震災に関する資料が展示されており、当時の資料だけでなく復興に関する資料、そして防災に関する展示・体験などができる施設になっています。ボランティアの方から、液状化や耐震化に関するお話を伺うことができました。

神戸市内フィールドワークでは、まず慰霊施設を訪問しました。そのあと、倒壊した阪神高速の橋脚の遺構を見学し、メリケンパークに保存されている震災の爪痕を見学しました。神戸市内の当時の遺構はほとんど残っていませんが、被災当時の資料を見た後に現在の状況を見ることで、復興に関しても体感できたのではないでしょうか。

防災センター正面

防災センター資料

メリケンパークにて

生徒たちの振り返り・感想

2年山崎

神戸の人防での体験学習でした。自分の父と祖母が被災者なので、その二人から聞いたこととリンクさせながら体験しました。

1年田丸

人と防災未来センターには何度か行ったことがあったが、中の資料には見たことがないようなものがあったりしたのでとても勉強になりました。また、神戸の被災からの復興には様々な想いがあり、人の力の凄さがよくわかりました。フィールドワークでは、折れた阪神高速の柱を見ることができ、鉄筋コンクリートでできた柱でも地震はおることができることを知り、改めて地震の力の大きさを感じることが出来ました。また、日本の経済衰退にはこの阪神・淡路大震災が背景にあることが分かり、自分の知識と結びつけることが出来ました。

1年野口

人と防災未来センターを訪れました。色々な映像や資料を見ましたが、なかでも震災の記憶フロアでの数々の資料が深く心に残りました。そこには震災のために曲がってしまった楽器や人々が書いた手紙、被災した直後の写真など、様々なものがありました。被災した直後の神戸には何がどうなっているか分からないくらいボロボロになってしまっているところもあり、思っていたより遥かに酷い様子に衝撃を受けました。神戸は直下型地震だったためか復興も早く、現在では神戸といえば発展したイメージを持つ人々も沢山いると思います。でも、今そんなに人々にそう思ってもらえるような町になった裏にはおそらく多くの人々の努力があったのだと思います。震災は予測が難しく突然来てしまうものですが、やはり事前に災害について学び、前回の活動でも学んだように減災に働きかけていくことが必要だと改めて感じました。

Copyright © 2001 kasugaoka High School .All Rights Reserved.